

# 副町長就任の ごあいさつ



なる い あきら  
浪江町副町長 成井 祥

先の3月定例議会におきまして、議会の同意をいただき、4月1日付で副町長に就任しました成井祥と申します。

豊かな自然にあふれ、人と人が温かくつながる浪江町で、これから仕事ができることを大変楽しみにしております。

私は平成13年に福島県庁へ入庁して20年。これまで商工労働や総務管理の部門を長く経験してまいりました。東日本大震災と福島第一原子力発電所事故発生後は、被災された中小企業の方々の事業再開のための補助事業や融資制度の創設に携わりました。こうした経験を活かしながら、これから国と町、県と町のパイプ役として、積極的に調整を進めていきたいと考えています。

さて、東日本大震災から11年、浪江町の一部で避難指示が解除されてから5年が経過しました。昨年は、交流拠点となる「道の駅なみえ」や「震災遺構浪江町立請戸小学校」、営農再開を後押しする「カントリーエレベーター」などが完成を迎えました。また、復興計画【第三次】がスタートし、なみえ水素タウン構想など産業の復興に向けた動きも進んでいます。

一方、まだまだ多くの町民の方々が避難生活を余儀なくされており、医療の充実など生活環境の整備や地域産業の復興、帰還困難区域の再生など、乗り越えなければならぬ課題は山積んでいます。

復興の動きを確かなものとしていくためには、町はもとより、国や県などを含めた関係機関が一丸となつて施策に取り組まなければなりません。

これから私は、吉田町長のもと、議会や佐藤副町長、職員らと力を合わせ、浪江町の復興のために誠意、全力を尽くす所存でございますので、町民の皆さまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

浪江町立請戸小学校、営農再開を後押しする「カントリーエレベーター」などが完成を迎えました。また、復興計画【第三次】がスタートし、なみえ水素タウン構想など産業の復興に向けた動きも進んでいます。

一方、まだまだ多くの町民の方々が避難生活を余儀なくされており、医療の充実など生活環境の整備や地域産業の復興、帰還困難区域の再生など、乗り越えなければならぬ課題は山積んでいます。

復興の動きを確かなものとしていくためには、町はもとより、国や県などを含めた関係機関が一丸となつて施策に取り組まなければなりません。

## 浪江駅周辺 グランドデザイン基本計画 住民説明会

浪江駅周辺のにぎわい創出を目的として、「浪江駅周辺グランドデザイン基本計画」を策定しましたので住民説明会を開催いたします。

説明会では、計画策定にご協力いただきました建築家の隈研吾氏、東京藝術大学の伊東順二氏、および住友商事株式会社の北島誠二氏に詳しくご説明していただきます。

浪江町の顔であります浪江駅前の新しい姿の基本計画ですので、ぜひご参加ください。

事前申込み制となりますので、同封の案内をご覧ください。

問 建設課中心市街地整備室 Tel 0240(34)0227

開催日  
**令和4年6月12日(日)**  
午後1時30分開会  
会場  
浪江町秋桜アリーナ サブアリーナ  
(地域スポーツセンター)  
浪江町大字権現堂字下馬洗田5-2



photo c J.C.C.Carbonne